

#### 工事概要



#### 工事概要

トンネルエ(NATM) L=280m

#### 施工特性

本工事は、国道494号佐川吾桑バイパス内の、須崎③工区に位置する延長280mのトンネル工事です。このバイパスは、国道33号と56号を結び、四国横断自動車道須崎東インターチェンジや重要港湾須崎港にアクセスする重要な路線です。現在暫定供用されている須崎②工区へのアクセス道路が、急カーブ急勾配であることから、早期の供用が望まれています。

#### 当該工事での課題

課題①: 全体に低土被りのトンネルであるため、トンネル

掘削時の地山崩落を防止する対策。

課題②: 地域住民に対する騒音・振動・粉塵等の周辺環境

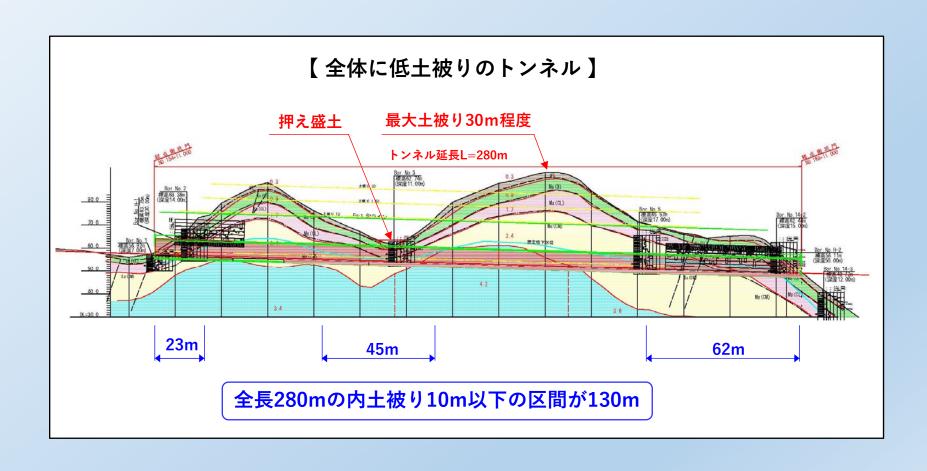
への配慮。

課題③: 覆エコンクリートの品質確保。

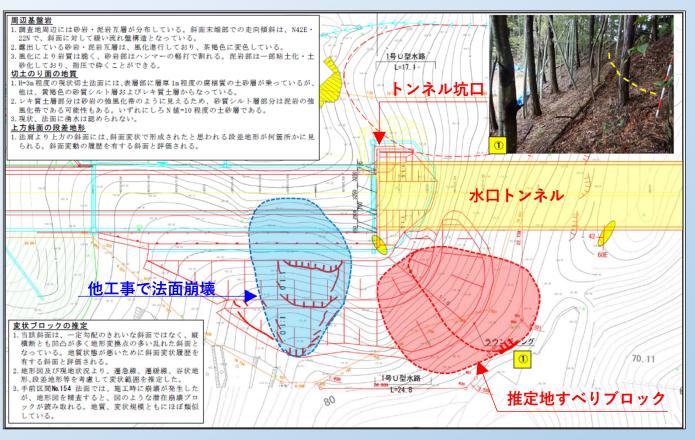
課題4: 残土運搬経路の安全対策と環境対策。

### 当該工事での課題①

全体に低土被りのトンネルであるため、トンネル掘削時の地山 崩落を防止する対策が課題。



#### 施工前に現場周辺の事前調査を行った



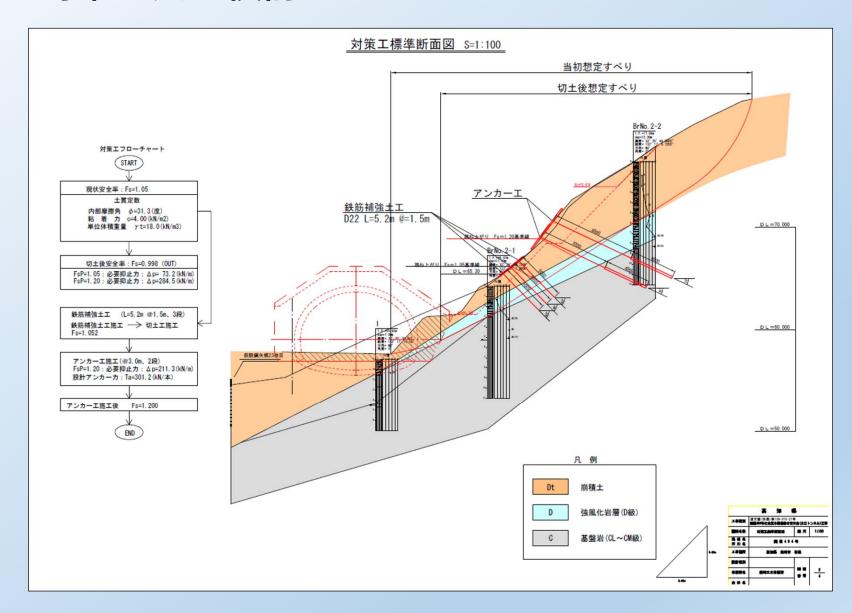
#### 地すべり防止区域看板



#### 他工事での法面崩壊状況



### 対策工法の検討



# 地表面計測の強化 全自動計測システムを採用



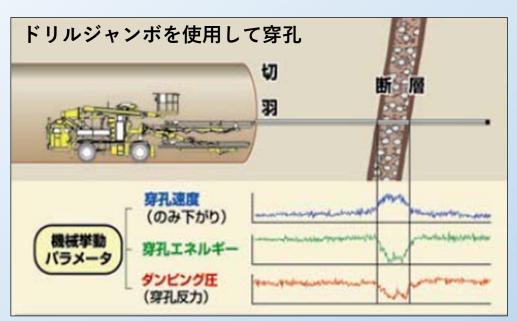
#### 【自動計測器械】



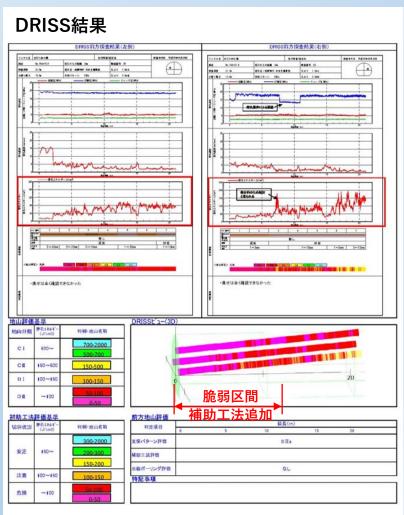
#### 【計測結果】



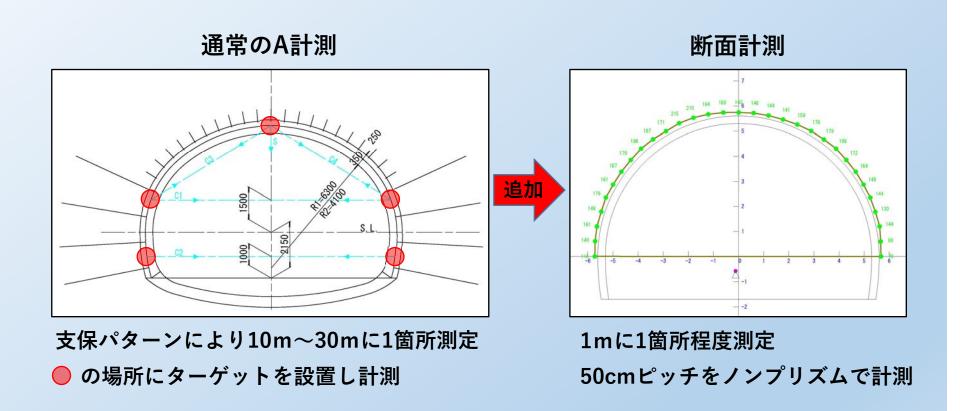
#### 切羽前方探査システムDRISSにより前方地山を評価



断面当り3箇所の穿孔探査を 20m毎に全延長実施



#### トンネル内空変位計測の強化



断面計測は1回の計測で20m程度の区間が計測可能であるが 計測に60分程度の時間を要する。

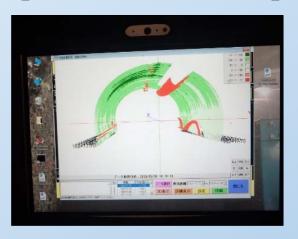
#### 3Dスキャニングシステムを採用

- ・20m区間を2分程度で計測が可能
- ・3Dスキャナにより壁面全体を計測可能

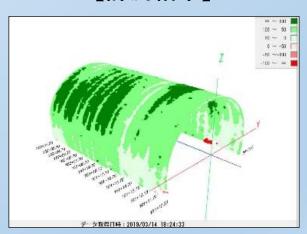
【作業中に計測】



【現場で計測結果を確認】



【計測結果】



早期に地山・支保の変位及び覆工断面欠損の有無を確認

### 当該工事での課題②

トンネル施工箇所周辺には集落が近接しているため、地域住民 に対する騒音・振動・粉塵等の周辺環境への配慮が課題。



## 環境負荷軽減仮設備設置状況



### 振動・騒音の管理

現場から最も近い民家の敷地 内に振動計・騒音計を設置



モバイル通信機能により事務所内の パソコンで常時確認が可能



騒音値基準値以内で作業を行っていたが、聞き取り調査を 行っていく内に夜間の機械音が気になるという意見があった。



掘削初期は坑口に防音シートを設置



坑内に作業スペースが確保できた時点で 防音扉を設置

#### 当該工事での課題③

#### 覆エコンクリートの品質確保



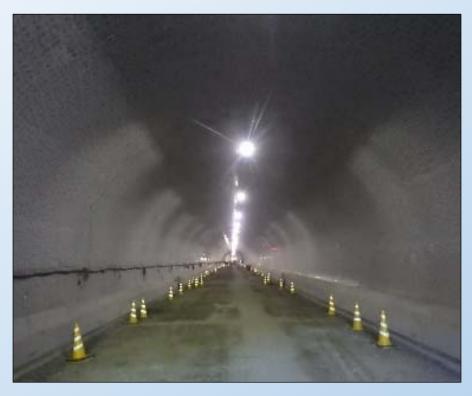
アーチ構造の為、通常の湿潤養生ができない。

#### 養生方法の検討

覆エコンクリートの養生方法は 多数開発されているが、その中 から施工性・経済性を考慮した 方法を選定。

#### コンクリート保水養生テープを採用

保水養生テープ設置状況

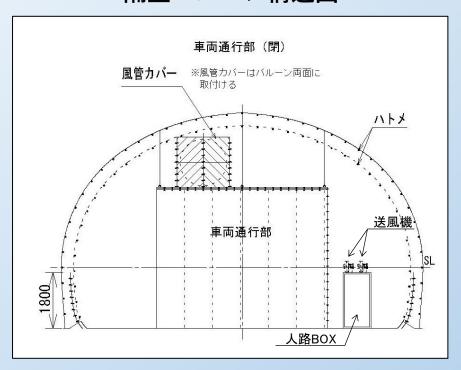




- ・コンクリート面に直接貼り付け 密着させることにより、表面か らの水の蒸発を抑制できる
- ・粘着テープで容易に貼り付けが 可能
- ・貼り付け後の散水等が不要のため 省力化することができる

## 両坑口に隔壁バルーンを設置し外気の吹き抜けに よる坑内温度・湿度の変化を抑制

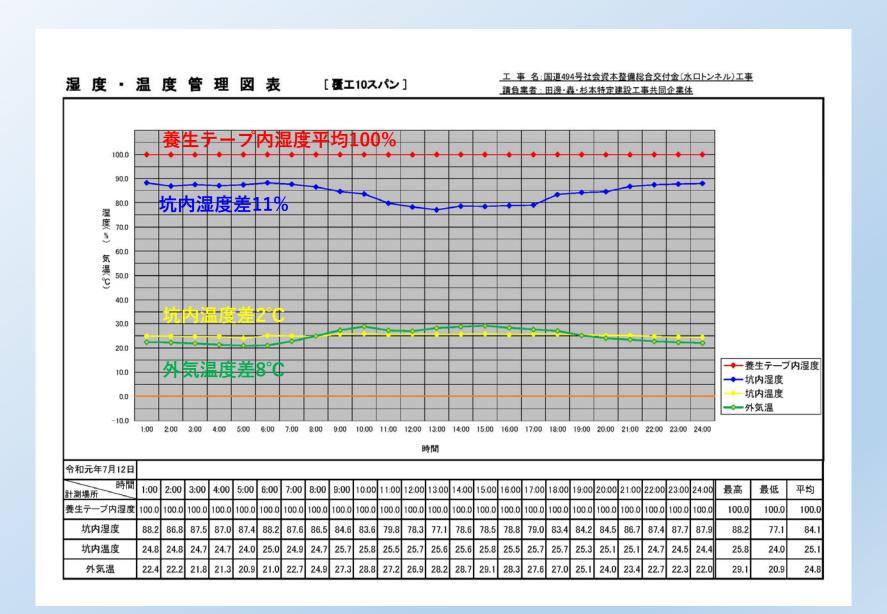
隔壁バルーン構造図



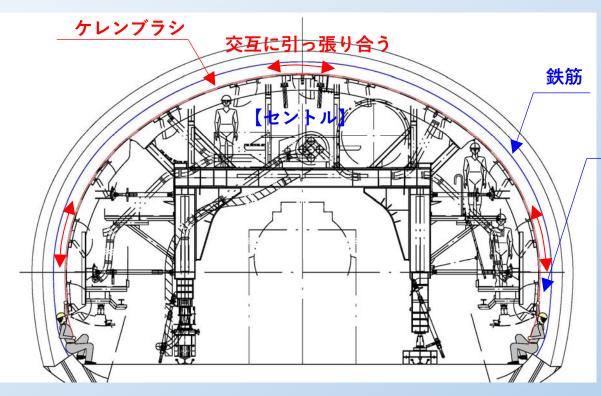
隔壁バルーン設置状況



#### 温度・湿度測定結果



### スライドセントルのケレン不足による品質劣化防止

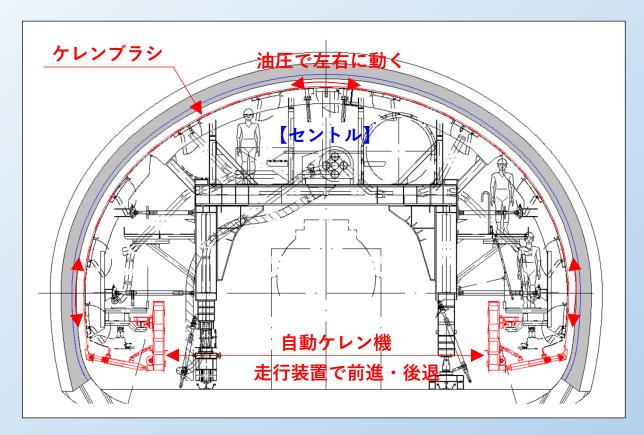


非常に狭い場所での人力によるケレン作業

セントルと鉄筋の 空間30cm程度



### 自動ケレン機を使用



自動ケレン機

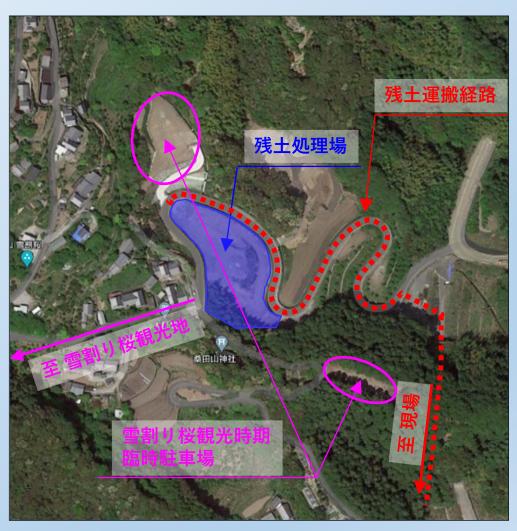




#### 当該工事での課題4

- ・残土運搬経路は急カーブが連続 する狭隘な市道で、地域住民の生 活道となっていることから、一般 車両との交通事故防止対策。
- ・雪割り桜の観光名所であること から、満開時期の交通対策。





#### 交通事故防止対策

拡幅部を離合場所とし一般車両優先の 交互通行

離合場所・現場出入口・残土場出入口 に交通誘導員を配置

走行中のライト点灯







#### 雪割り桜観光時期の状況

雪割り桜



残土場出入口と臨時駐車場出入口が近接



ピーク時には市道に車両が立ち往生することもあるため 観光時期の残土搬出は困難と判断

#### 雪割り桜観光時期の工程を調整

・観光時期はピークを含めて2週間程度

ピーク時期にセントル組立作業を行い残土搬出を中止

- ・セントル組立作業は8日間
- ・残土仮置き場に掘削土3日分はストック可能

2/19(火)	2/20(水)	2/21(木)	2/22(金)	2/23(土)	2/24(日)	2/25(月)	2/26(火)	2/27(水)	2/28(木)	3/1(金)	3/2(土)	3/3(日)	3/4(月)	3/5(火)	3/6(水)	3/7(木)
				雪割り桜観光ピークと判断												
トンネル掘削			セントル組立作業										トンネル掘削			
残土搬出			残土搬出中止期間											残土搬出		

#### 残土運搬経路の汚れ防止及び粉塵対策

- ・運搬台数は多い時で100台/日
- ・仮置場へのストックに限りがあるため雨天時にも搬出



- ・現場及び残土場出入口に湿式タイヤ洗浄機を設置
- ・路面清掃及び散水を適宜行った

【タイヤ洗浄機:現場】



【タイヤ洗浄機:残土場】



【路面清掃・散水】



#### その他の取り組み

地域の草刈り活動に参加



工事の概要・工法・進捗の分かる 掲示板を市道沿いに設置し周知



地元小学校の現場見学会





